

2022年3月25日

各位

九州朝日放送株式会社

## 認定放送持株会社体制への移行に関するお知らせ

九州朝日放送株式会社(本社:福岡市中央区長浜、代表取締役社長:和氣靖、以下「当社」)は本日開催された取締役会において、2023年4月1日付けで、認定放送持株会社体制へと移行するための手続きを進めていくことを決議しました。

### 記

#### 1. 移行手法について

2023年4月1日を効力発生日として、当社を分割会社とする吸収分割方式により、2022年4月に設立予定の九州朝日放送分割準備会社株式会社(以下「準備会社」)にテレビとラジオの放送事業等を承継させる予定です。2023年4月1日に当社は「KBCグループホールディングス株式会社(以下「HD会社」)に、準備会社は「九州朝日放送株式会社」に、それぞれ商号変更する予定です。

ただし、認定放送持株会社体制への移行と商号変更については、2022年6月下旬開催予定の当社定時株主総会での決議による承認を経て、関係官庁に認定申請等の手続きを行い、必要な許認可等が得られることを条件に実施します。

#### 2. 目的について

当社は1954年に福岡県久留米市でラジオ放送を開始し、福岡市に本社を移転した後の1959年にテレビ放送を開始しました。以来、北部九州地区において地元の皆さんに愛され、必要とされる放送局を目指してテレビとラジオの放送を続けてまいりました。今期中期経営計画(2018年～2022年)では当社のありたい姿を「地域とともにあるナンバーワンメディア」と掲げ、「地域の人びとに価値ある情報コンテンツを届け続けること」をミッションとしてきました。近年は津々浦々の地域との向き合いをさらに深め、域内の全ての自治体から魅力を発信するプロジェクト「ふるさとWish」や、自治体ごとに防災などきめ細かい情報をデータ放送でお届けする「dボタン広報誌」を展開してまいりました。

一方、メディアを取り巻く環境はインターネットを通じたデバイスやSNSによるコミュニケーションが増加するなど大きな変化を続けています。これに対応するため、当社では3年前にスマートフォンの自社アプリを通じた情報提供を開始したほか、本年4月からはテレビの地域情報番組「アサデス。KBC」をリアルタイム配信する予定で、引き続き魅力的で多様性に富んだコンテンツを放送・発信していく取り組みを進めております。

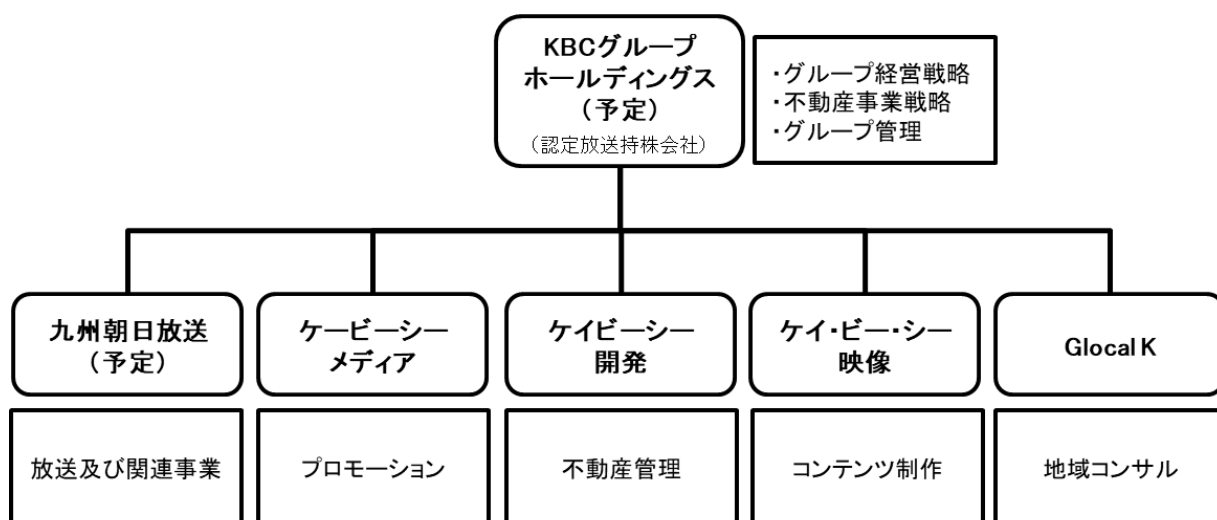
こうした環境下で、当社は将来にわたって地域から必要とされるメディアであり続けるため、企業としてどうあるべきかを、数年にわたって検討してまいりました。その結果、従来の放送局としての歩みを踏まえつつ、新しい時代にグループ一体で柔軟に対応できる経営システムが必要との結論に達しました。持株会社の下で、テレビ・ラジオの放送事業会社と、放送の枠を越え事業を広げるグループ会社が相互に関連してリソースを駆使し、グループの総合力を発揮することを目指します。新たな経営システムを土台に、これまでの「地域ナンバーワンメディア」から、放送+αの力で地域の魅力や価値を最大化する「地域をプロデュースするメディアグループ」への進化を図ります。

### 3. 新体制について

現在の当社のグループ体制は、当社とその完全子会社4社を合わせた5社で構成されています。新体制ではHD社のもと放送事業会社とグループ事業会社を合わせた5社（以下「グループ5社」）が並列になり、HD社も含めた6社が役割と責任を明確にします。HD社はグループ経営戦略や不動産事業戦略、出資やM&A等について適時的確に意思決定し、グループ5社に対する監督機能を担います。グループ5社は並列の立場でそれぞれ放送事業、プロモーション、不動産管理、コンテンツ制作、地域コンサル等を担うこととし、役割と権限を明確にして事業運営に専念します。

新体制ではHD社とグループ5社が一体となり「地域をプロデュースする」力を高め、地元の皆さんから愛され、必要とされるKBCグループとして、地域の活性化・発展に寄与してまいります。

### 4. 新体制図



(100%子会社のみを記載)

以上

問合せ先 九州朝日放送株式会社  
経営企画本部長 松延健次  
電話 092-721-1234